



## 美術部 活動報告

～陶芸に挑戦しました！！～

### 【内容】

TV や雑誌で見たことのある「陶芸」。  
やってみたいけど、なかなかやる機会  
がないですよね。でも、本校の美術室  
には道具が揃っています！！という  
ことで、器を作ったレポートです！ど  
うぞご覧ください(^^)

こんにちは、美術部です！！

昨年度の荏原祭では部員みんなで1つの作品を完成させましたが、今年は陶芸に挑戦し、その模様をお伝えします。

今回は器（お猪口くらいの大きさ）を作ります。器を作る！といっても今回は基本中の基本、「手びねり」で作成します。

工程は大きく分けると、「練り」⇒「紐作り」⇒「積み上げ」⇒「整形（かなり細かくあります）」⇒「素焼き」⇒「色つけ（釉薬）」⇒「本焼き」となりますが、今回は「整形」のところまでです。「学校に窯があればなあ」と中村先生と日々感じております。

それではいってみよう！！

## ①「練り」

「練り」は「あら練り」・「菊練り」がありますが、今回はあら練りのみです。これをしっかりやらないと、粘土中に空気が入ってしまい、焼いた時にヒビが入る原因となります。

なので時間をかけて練りました！

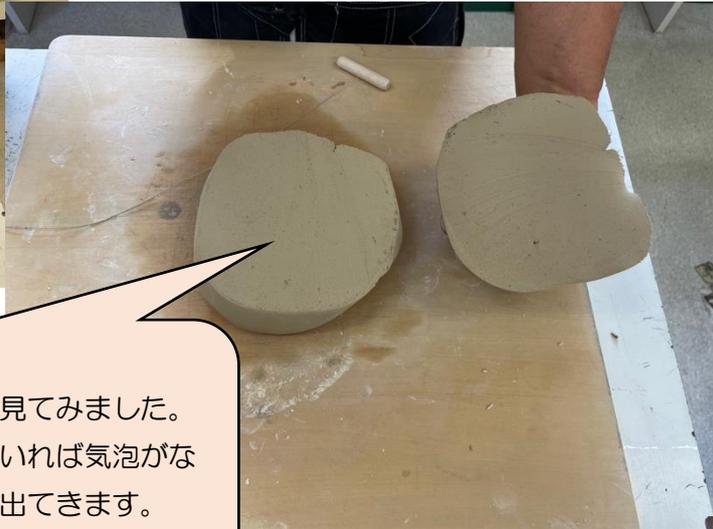


粘土の後ろ側が曲面になるように  
にします。

体重をかけるので、力はほとんど  
必要ありません。



繰り返し練って、T字型になります。  
これを何度も繰り返します。



クレイカッターで断面を見てみました。  
空気がしっかりと除けていれば気泡がなくなり、綺麗な断面が出てきます。

なかなかコツが  
掴めない、、、



カじゃなくて、リズムなんだよ！

## ②「紐作り」・「積み上げ」

続いて「紐作り」と「積み上げ」です。紐作りの写真を撮り忘れてしまいました。すみません。ということで積み上げです。細くした紐状の粘土（直径1cm程度）を何本か作り、順に積み上げていきます。一段目・二段目の間をしっかりと埋めながら積み上げます。この間を埋める作業を怠るとヒビの原因となるため、しっかりと埋めていきます。そしてコップの形状へともっていきます。



## ③「台尻作り」

コップの形状まできたら、上下ひっくり返して台尻作りです。

いよいよろくろ（手動）を使います。台尻を作るために、まずは底面の中心を調べます。中心は針を使って調べます。ろくろを回して針を優しく置くと円ができます。その円をみて中心を求めます。



#### ④「削り」

次に削り作業です。余計な粘土をへらで削ぎ落としていく作業です。少しずつやらないと穴が空いてしまうので慎重に進めていきました。最後に弓で縁を整形し、なめし革で角を取ります。



削り作業が終わって、なめし革で角をとっているところです。

素焼き前の作業としてはこれで終わりです。お疲れ様でした！初めてにしてはなかなかいい感じに仕上がりました！焼いた時に割れてないことを祈ります。

さて、時間も少し余ったため、電動ろくろにも挑戦しました！その模様をお伝えします！

本来は最初の工程の「あら練り」の後に「菊練り」をして電動ろくろに乗せるのですが、今回は中村先生に菊練りまでしていただきました。あら練りも難しいのですが、菊練りはコツを掴むまで本当に難しいと感じました。



ろくろの動きに負けないようにしっかりと脇を閉めて両手で挟む！



ふむふむ。  
難しそう・・・💧

見るより実践！！やってみよう！！！！！！



みんな最初はこのようなステップを踏みます。失敗は成功の母！！大丈夫！リベンジしましょう(^ ^)

ということで、再び中村先生に見本を見せていただきます。



脇を締めて、内側に  
両手で押さえ込んで  
いく！



シャキーン☆

時間の都合上、中村先生に作っていただいた土台を使って器を作りました。最後まで気を抜かずに慎重に進めました！



薄く・高くしていく作業に苦戦しましたが、繰り返し行った結果、良い器ができました！

完成です！まだ台尻がうまく整形できておりませんので、少し乾燥したら整形します。その後しっかりと乾燥させて、素焼きします。その後は釉薬（ゆうやく）を塗って色をつけ、最後に本焼きです。

まだまだ工程はありますが、最後まで頑張りたいと思います。荏原祭での報告はここまでです。今後は本校 HP にて進捗報告をいたします。



最後まで読んでいただきありがとうございました(^^)